

F₁ ノベルティインパチェンス ジャングルゴールド

ついに登場、ユニークなアーリコマ・インパチェンス

- これは、需要サイドからの「何かかわったものは？」という問いに応えた、ユニークで新しいアーリコマ種のインパチェンス
- ジャングルゴールドは、蘭のような魅惑的なゴールデンイエローの花と、光沢のあるダークグリーン葉の対比が映える斬新な品種です
- 多花性で生育旺盛なジャングルゴールドは、大鉢で他の生育が旺盛な品目と植え込んでも、相性のよくお互いの強さが発揮され、違和感ありません
- ジャングルゴールドは露地に下るすよりも、コンテナ定植に向く品種です。コンテナでドライな条件に置くと、花数が多くまた草姿もよくなります
- 草丈は 38-45cm で、株張りも同じくらいのサイズの直径にまで育ちます
- 栽培管理は完全シェード(遮光)の下で行いましょう。直射日光の下で、とくに温度が高いと花のつき方が落ち、株にもストレスが生じます

本品種の学名: *I. auricoma*
種子粒数: 700-800 粒/グラム

発芽ステージ

培地

水はけがよく、衛生的なピート主体の培地を用いましょう。土壌 pH は 5.5-6.3、初期養分は EC 値*を 0.75mmhos/cm (1:2) 程度に中庸に設計します

プラグトレイのサイズ

288-400 穴までのサイズ(例: 384, 390, 392, 406 など)を推奨しています

播種

発芽は、チャンバーを用いなくともベンチの上でも可能です。発芽には 6-8 日かかります

温度

22-24°C を維持しましょう

湿度

発芽時は相対湿度 99% を維持しましょう。粗めのパーミキュライト等で軽く覆土し、湿度を高く維持します

光条件(電照等)

光が入ると発芽が向上します

プラグ生産ステージ

温度

発芽から移植までは、気温を 21-24°C、地温を 21°C で維持しましょう

光条件(電照等)

電照等は不要ですが、補光をすると生産全体にわたっての期間短縮に効果があります

肥料

幼根が発現したら 50-75ppm (N) の濃度で施肥を開始します。子葉が展開してからは、濃度を 100-150ppm (N) に上げます

土壌の水分

幼根が現れるまでは土壌の水分を多めにします。幼根が地中で発達してからは、水分レベルを下げましょう。培地が乾いて苗が枯れないように注意します

矮化処理剤(PGR)

プラグ生産ステージでは、矮化剤は不要です

移植適期

トレイから苗が簡単に抜けるようになったら鉢上げします。放置したまま根詰まりさせないように注意しましょう。根詰まりは株に大きなストレスを与えます

ポット上げから出荷まで

コンテナサイズ

アメリカでは 11cm ないし 15cm、20cm のコンテナサイズを奨めているので、国内では 10.5cm 以上を推奨

生育適温

夜間温度: 17-20°C

昼間温度: 22-25°C

かん水

土壌の水分量は、多すぎず少なすぎずの中庸を維持します。水が多いと栄養生長が進んで葉が大きくなりすぎて、花が隠れてしまうので注意が必要です。また、水が不足すると下葉が黄色く変色し、花芽がとんでしまうのでこれも注意が必要です

肥料

ポット上げ後はじめの3週は、週1回150ppm(N)の肥料を与えます。株の生長にしたがって、濃度を200-250ppm(N)にまで上げます。アンモニア態窒素は葉の栄養成長を促し、花芽分化を制御してしまうことがあるので、硝酸態窒素系の肥料を用います。EC値は2.0以下を維持しましょう。塩類のレベルが高く振れた場合はよくかん水し、適正值以下に下げます

ピンチ

ピンチは不要です。花と分枝のバランスを保ち美しい草姿に仕上げるには、個体の葉どうしが触れない程度のスペースをとりましょう

矮化処理剤(PGR)

イリノイ州で行った矮化剤試験の結果では、ボンザイ3-5ppmの葉面散布で効果が確認されました。ポット上げ後2週で上記の矮化剤を散布します。花芽がついてからの矮化剤投与は避けましょう。これは花柄の生長が制御され、花柄が伸びきれず、花が葉の下に入ってしまう可能性があるからです。徒長させないためにも、固体の葉どうしが接触し始めたらずぐにスペースをとるよう心がけましょう。矮化剤の効果は、栽培条件や環境によって異なる場合があるので、生産管理する場所の環境条件を見ながら柔軟な対応を施すようにしましょう

予想される一般的な障害

害虫： スリップス

病気： 通常の栽培条件のもとでは、大きな病例等は報告されていません

栽培のスケジュール

発芽ステージ： 6-8日
プラグステージ(406穴)： 4-5週
ポット上げから開花： 8-10週

播種からポット上げ(400穴トレイ使用)： 4-5週

コンテナサイズ	鉢あたりの株数	鉢上げから開花までの週数
11cmポット	1	8-9
15cmポット	1-2	9-10
ガロンコンテナ(20cポット)	1-2	9-10

花壇等での特性と手入れ：

草丈： 30-38cm(鉢植えの場合はこれより低くなることもあります)
ジャングルゴールドを植え付ける場合は、大きめのコンテナ鉢に定植して、日陰に置きましょう。ジャングルゴールドは単品でも存在感を十分に示しますが、より引き立たせるために、ぜひとも寄せ植えを推奨します。花色の濃さを維持するためにも、2週に1回は汎用タイプの肥料を与えましょう

2005年9月 改定

*: EC値(電気伝導度)の数値は、北アメリカのピート主体の培地が算出要素になっているので、日本国内では適合し得ない場合もあります。

PanAmerican Seed

®および®は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 PanAmSeed.com

©2003 Ball Horticultural Company Printed in USA PAS03007
Originally issued as PAS003007 in USA, and under permission translated/revised into Japanese in 2005. Printed in Japan